

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

<b>事業名</b>	領事シニアボランティア派遣費		<b>担当部局庁</b>	領事局		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成15年度開始		<b>担当課室</b>	政策課		課長 鈴木 光太郎	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	IV-1 領事サービスの充実			
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	外務省設置法第4条		<b>関係する計画、通知等</b>	領事シニアボランティア制度			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	国民の目線に立ったきめ細かい領事サービスを提供するため、ボランティア精神と民間企業等での実務経験や人生経験に富んだシニア世代の人材を領事シニアボランティアとして在外公館に派遣する。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	領事サービスの向上のため、ボランティア精神と民間企業等での実務経験や人生経験に富んだ人材を一定期間在外公館に派遣する。派遣期間は1年ごとに更新し、最長3年まで。経費の内訳は海外手当、住居費、海外旅行傷害保険経費、赴任帰朝旅費及び海外手当改定財源経費。						
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	79	101	90	81	73
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	79	101	90	81	73
	執行額	73.0	90.0	71	-	-	
	執行率(%)	92.4%	89.1%	78.9%	-	-	
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	領事シニアボランティアから在外公館における領事サービスの提言を受け、領事サービスの向上を図る。また、在留邦人の相談に応じ、いわゆるワンストップサービスとしての役割も担う。(参考指標: 1. 領事シニアボランティアによる在留邦人への対応数 2. 活動報告及び提言数)	成果実績	1.対応数	2820	3060	2180	3600
		2.報告数	141	153	110	180	
達成度	%	-	-	-	-		
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	シニアボランティア派遣公館数(派遣人数)		活動実績 (当初見込み)	派遣数	15	15	15
<b>単位当たりコスト</b>	4,726,000(円/1人)		算出根拠	領事シニアボランティアに支払った謝金合計額を人数で除したもの。			
平成23年度 (単位:千円内訳)	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	人件費	81,069	73,355				
	計	81,069	73,355				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	領事窓口における対応との切り口であれば、民間コンサルに委託することも可能である。ただし、在外公館で実施することのコストとの関係では調査は実施していない。
	△	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>22年度の政策評価においても「今のまま継続」との評価がなされており、本事業については内外から高い評価を得ている。他方、23年度予算においては、財政事情もあり領事シニアボランティアの継続派遣公館が12公館に縮減されたところであるが、在外公館のニーズは多く、これまで派遣した領事窓口件数が多い公館(査証以外の件数が1万件を超える公館)のみならず5千件から1万件程度の在外公館からも派遣の要望に接していることから、予算的制約の中で在外公館領事窓口の行政サービスにおけるいわゆるCS(顧客満足)を向上させるのための制度のあり方について、更なる強化を行う必要がある。</p> <p>なお、22年度の参考指標が減っているが、これは領事シニアボランティアの内10名が入れ替わったため、領事シニアボランティアが不在との空白期間が発生したことによる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業見直しによる減		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減(事業見直しによる減)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

【領事シニアボランティア派遣費】

外務省  
89.6百万円

領事シニアボランティア  
15名 70.9百万円

人件費、赴任帰朝旅費

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)(単  
位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	海外手当・住居手当	59.9			
諸謝金	赴任帰朝所要経費	10.7			
諸謝金	海外旅行保険(一部負担)	0.3			
計		70.9	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	領事シニアボランティアA	業務委嘱	6.0		
2	領事シニアボランティアB	業務委嘱	5.3		
3	領事シニアボランティアC	業務委嘱	4.9		
4	領事シニアボランティアD	業務委嘱	4.8		
5	領事シニアボランティアE	業務委嘱	4.5		
6	領事シニアボランティアF	業務委嘱	4.4		
7	領事シニアボランティアG	業務委嘱	4.4		
8	領事シニアボランティアH	業務委嘱	4.2		
9	領事シニアボランティアI	業務委嘱	4.2		
10	領事シニアボランティアJ	業務委嘱	3.9		